



北海道江別高等学校

生活デザイン科

〒067-8564 江別市上江別444-1 TEL011-382-2173

<http://www.ebetsu.hokkaido-c.ed.jp>

学科の目標と特色

染織・インテリアデザイン、服飾デザインに関する専門的知識と技術を習得させ、生活に関する職業に従事するものとして必要な能力と態度を育てる。

生活デザイン科では、専門的な知識・技術を習得するために、2年生から染織・インテリアコース、服飾コースの2つに分かれて学習します。1年生で学習した「家庭総合」「色彩とデザイン」などの授業を基礎に、「服飾文化」「染織制作」「住生活デザイン」「ファッションデザイン」「ファッション造形」などの授業を通して、デザインの知識・技術を学び、発想力、表現力を高めます。

3年間の学び

1年生

「色彩とデザイン」「家庭総合」などの授業で、基礎的・基本的な知識・技術を学びます。「生活産業基礎」では進路に向けて生活を支える産業について学習します。



家庭クラブの清掃活動の様子



先輩方からイスカバーのプレゼント



調理系専門学校講師による出前授業

3年生

専門科目の授業がますます増え、実習や課題も多くなります。進路実現に向けての取り組みはもちろんのこと、資格取得や、三年間の集大成としての学習成果発表会に向けても取り組んでいきます。



「染織制作」の機織りの実習風景（染織インテリアコース）



モデルハウス見学（染織インテリアコース）



「ファッション造形」の授業風景（服飾コース）



自分で作った浴衣を使って和装着装教室（服飾コース）

コースに分かれての授業が始まり、専門的な内容が増えます。働くことを体験するインターンシップなども行われ、進路に向けて具体的に考えていきます。



江別市・札幌市などでのインターンシップ体験



化学染料を用いた絞り染め作品
(染織インテリアコース)



被服製作技術検定の作品製作（服飾コース）



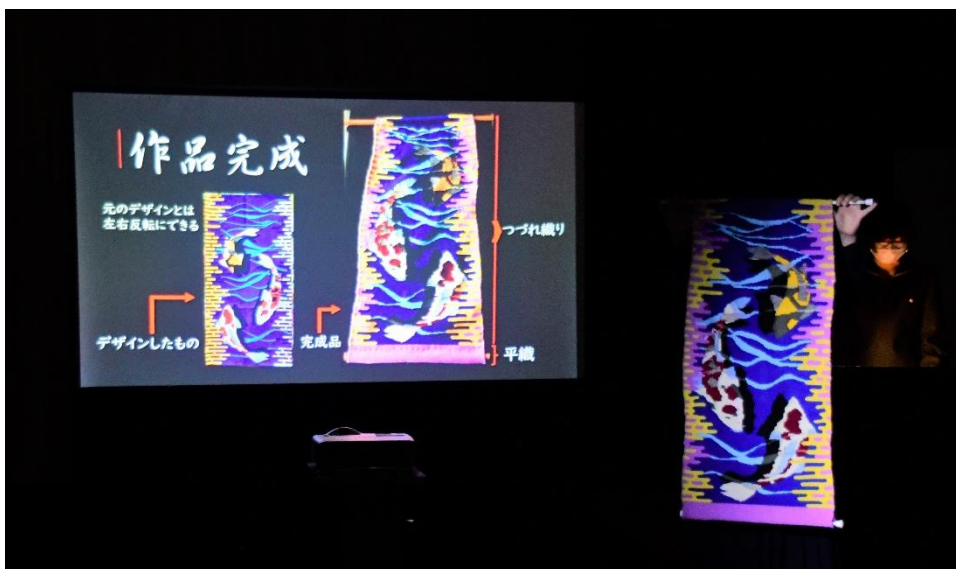
藍染めの作業をする生徒
(染織インテリアコース)



初めてのろうけつ藍染め作品

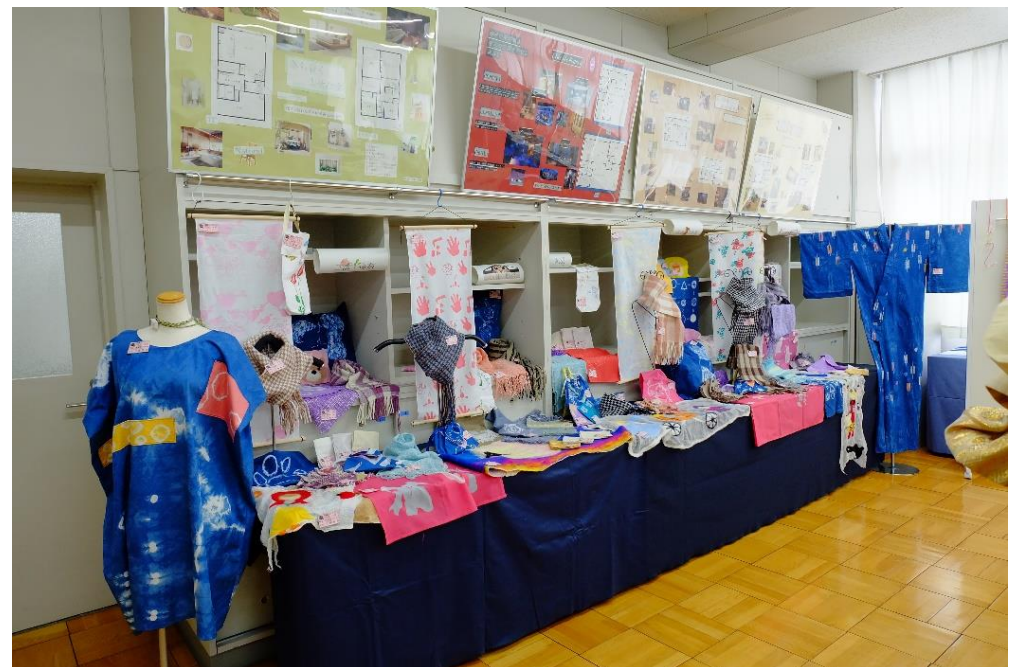


先生の説明を熱心に聞く服飾コースの生徒



学習成果発表会の様子

制作した作品について発表をする
染織インテリアコースの生徒



卒業制作展の様子



学習成果発表会の様子

ファッションショーで自分の作品を披露する服飾コースの生徒



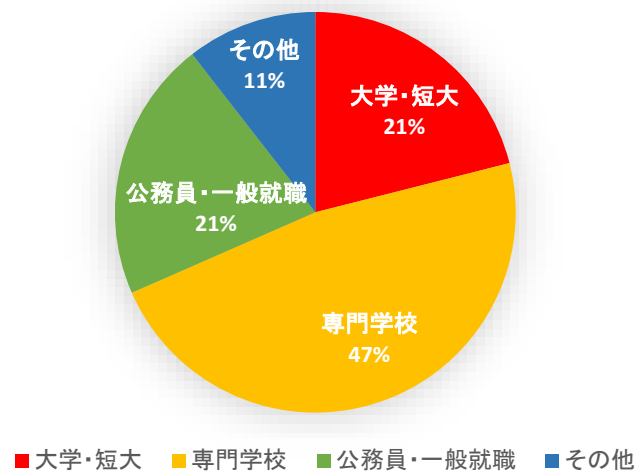
卒業後の進路

約7割の生徒が学科での学びを終えて、さらに上級の大学・短大・専門学校などに進学しています。専門科目の内容をさらに深く学ぶために服飾や建築、デザインなどの学部・学科に進む生徒や、家庭科の学びを活かす保育や調理、福祉などの分野に進む生徒が多いです。

近年の主な進路先

文化学園大学(東京)・北翔大学・酪農学園大学・星槎道都大学・北翔大学短期大学部・文化服装学院(東京)・北海道文化服装専門学校・札幌ファッションデザイン専門学校DOREME・札幌こども専門学校・青山建築デザイン・医療事務専門学校・光塩学園調理製菓専門学校・札幌ベルエポック美容専門学校・北海道芸術デザイン専門学校・(株)プリンスホテル・北海道トンボ(株)・北海道セキスイハイム(株)他

生活デザイン科の進路概況(R2～R3)



自分の進みたい道へ向かって

小林 一菜

(野幌中学校出身)

私が江別高校の生活デザイン科に入学した理由は、自分に自信をつけることと、視野を広げたいと思ったからです。その結果、予想を遥かに超えて濃厚な高校生活を送ることができました。卒業とともにコロナ禍となり、1年間は大学に行くこともできず不安でしたが、図面や建築CADについての基礎を学んでいた為、戸惑うことなく授業を受けることができました。またビジネス文書検定で身につけた力が、オンラインでの発表や課題に活きていると感じます。建築は理数系が重要で、普通科に比べると不利だと思われがちですが、大学入学後に努力次第で追いつくことが可能です。そしてそれ以上に大切な独創性や芸術性といった力は、身につけることが難しいと思いますが、私は生活デザイン科で色彩やデザイン、染織などの授業を通して培うことができたと思っています。これらの力は模型とプレゼンボードを使用した設計課題や、学生コンペなどで大いに発揮することができています。将来は大学院に進学し高校・大学と深めた学びをさらに活かせる道に進もうと考えています。生活デザイン科は様々な道に進むことができる可能性を秘めています。皆さんがこの学科に入学し、自分の進みたい道へ行けることを願っています。



2020.3 生活デザイン科卒業

2020.4～ 北海道科学大学

工学部 建築学科

私の世界を広げてくれた生活デザイン科

所 舞耶

(北白石中学校出身)



2019.3 生活デザイン科卒業

2019.4～ 文化学園大学 現代文化学部
国際ファッション文化学科

私が生活デザイン科に入学をしていなければ、現在のように東京の大学に進学をし、様々な経験をすることで視野を広げることは出来なかったと思います。

最初は将来の事なども考え普通科と迷いました。しかし、小学生の時から好きなファッションについて学びたいと思い、生活デザイン科への進学を決めました。その頃は好きという気持ちばかりで服作りに関する知識など全くありませんでしたが、授業で一から学ぶことで知識や技術が身につけていると実感することができました。検定に追われ大変な時期もありましたが、とても充実した日々を過ごすことができ、とてもいい思い出になっています。

また、生活デザイン科で学んでいく中で自分の得意不得意や、自分の好きなことを改めて見つける事ができるため、私の場合は、衣装についてより深く学びたいと考え東京にある服飾大学に進学し、現在では普段着だけでなく、ドレスや舞台衣装のデザインから製作まですべての工程を行っています。このように、自分の得意なことや好きなこと、また強みを見つけることができるのが生活デザイン科の魅力だと考えます。

いろいろと不安なことや、心配もあるとは思いますが、生活デザイン科で学んだからこそ今の自分があると私は思っています。生活デザイン科で学ぶことで知識や技術を身に付けるだけでなく、自分自身について知ることで、その先の未来を豊かにするきっかけになると嬉しいです。

自分の可能性を知ること

株式会社クラウドディア

商品企画部 デザイナー

野村 美咲

(新篠津中学校出身)

小さい頃からモノづくりが大好きだった私は、中学生の時にはざっくりと「将来はデザイン関係の道に進みたい」と考えておりました。ただデザインといってもどんな職業があるのか、その道は自分に向いているのか、など不安もあり…そんな時、高校からデザインを専門的に学ぶことが出来る北海道江別高等学校生活デザイン科に出会いました。

入学後は「服飾コース」に進み、デザインやパターン・色彩を学びながら技術検定の取得やコンテストなど様々なことに挑戦しました。その結果と経験が、成長と確かな自信へ繋がりました。

「向いていなければまた考えよう」と自分を試すために入学したのが始まりでしたが、実際は「好き」や「興味」をとことん追求できる環境や先生方のご協力のおかげで、向き不向き関係なく自分の可能性を知り、その可能性を十二分に広げることが出来ました。

普通科では学ぶことの出来ない専門的な知識を身につけることが出来る生活デザイン科であれば自分の可能性を知り、将来への強みにすることが出来ます。

KURAUDIA
BRIDAL CREATOR



2013.3 生活デザイン科卒業

2017.3 杉野学園ドレスメーカー学院
高度アパレル専門科卒業

2017.4～ Disney、蜷川実花、
JILLSTUART、PAUL &
JOEなどのブランドで有名な
(株)クラウドディア勤務

現在自分のブランドを持ち、ウェディング
グドレスデザイナー・パタンナーとして
活躍中